

# 生涯学習

学習機会の提供

## 文化講演会

### 「親から子への贈り物」

11月19日(金)農業者トレーニングセンターで文化講演会が開催されました。講師には、元NHKチーフアナウンサー川上裕之氏を迎えて、「親から子への贈り物」という演題で講演されました。

明瞭な発音、流暢な話し方に、聴講者も知らず知らず話



に引き込まれていきました。

川上氏のお話によると、ご自身は決して話すことに自信があったわけではなく、アナウンサーになってから毎日訓練を重ねて、明瞭な発音と話術を身につけられたとのことでした。

日本語の乱れが指摘されるこのごろですが、私たちも自分の話し言葉を見直してみることが必要でしょう。

訓練さえすれば、だれでも美しく、そして聞きやすい日本語を話すことができるということです。そして、それは毎日の生活の中から子どもたちに浸透していき、次の世代に美しい日本語を引きつぐことにもなるのです。まさに、またとない「親から子への贈り物」といえるでしょう。

そこで、明瞭な日本語を話すためのワンポイントアドバ

## ワープロ講座

### 開講

ワープロは、事業所での使用のみならず、家庭でも定着しつつあります。使い方を覚えれば広い用途があり、便利な機械の一つです。

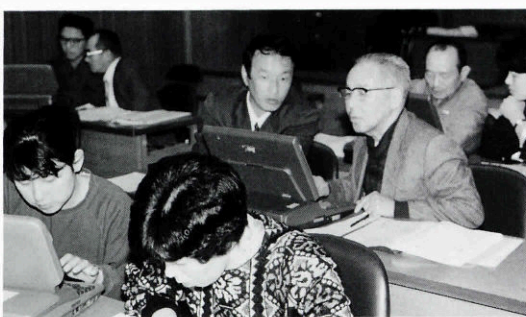
11月15日から11月18日までの4日間、初級ワープロ講座を開催しました。本講座は、基本的な操作技能の修得をめ

イスです。

○口の開け方をいろいろ変化させて、どの程度の開け方かはつきりした発音になるかを確認する。そして、その開け方で発音の練習をする。(続けることが大切)

○聞き手にはつきりと伝わるように、ゆっくり話すように心がける。(大人相手の場合、一分間に三百字程度の速さ)

○美しい日本語を身につけても使えなければ意味がない。自分から進んで美しい言葉を使おうとする気持ちが大切である。(あいさつから)まず、私たち大人から美しい日本語を話す努力をしたいものです。



ざして進められました。参加者も20代から70代まで幅広い年齢層にわたっていました。基本的な指使いから始まり、

入力の方法、変換、編集など簡単な文書がうてるように講座が進められました。

日ごとに学習内容も複雑になっていきましたが、2人1組で学習を進める受講者の皆さんは、互いに助け合いながら、キーボードに向かっておられました。

最終日には、全員が検定用の文書を作成し、めでたく本講座の修了証を手にとられました。これを機会に、さらにワープロの操作技術を高められるように願っています。

## 家族

### ふれあい事業

県立青少年養育施設の12月の予定は次のとおりです。(12月11日・12日)

○秋吉台少年自然の家  
親子でもちつき

○秋吉台青少年宿泊訓練所  
ホームパーティーしま専科  
(キャンドル手作り教室・手品教室)

○山口徳地少年自然の家  
輪かざり作り

○萩青年の家  
親子ふれあい萩焼づくり

## 女性のための

### 音楽と講演の

### つづい

期日 12月18日・19日  
会場 山口徳地少年自然の家  
対象 女性百人  
内容 コンサート  
「ケーナで奏でる  
南米音楽」

### 講演

「生きることと

活かすこと」

◎お問い合わせは、公民館へ